

	到達目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベルⅠ	看護実践に必要な基本的能力を習得する	1~3日 新採用者研修 (研修) 15日(水) 与薬技術Ⅰ-3、4 (内服・注射) 24日(金) リフレッシュ研修 【毎月提出】 『心に残った看護場面』	11日~ 個別面談	~26日 個別面談	(研修) 6日(月) 7日(火) 看護倫理 Ⅱ-1、2		ラダーレベル中間 評価 看護技術〔中間〕 評価実施 Ⅰ-3、4 ・チェックシート使用		(研修) 10日(火) 11日(水) 看護技術発表会に 向けて			(研修) 2日(火) 看護技術発表会 Ⅰ-3、4 9日(火) 課題レポート提出 ラダーレベル自己・ 他者最終評価実施	ラダーレベル評価会
レベルⅡ	①根拠に基づいた看護を 実践する。 ②後輩と共に学習する		(研修) 13日(水) 14日 (木) フィジカルアセスメント Ⅰ-1 ※研究開始前年度に受講 「eAPRIN」		(実技) 13日(月)~21日(火) フィジカル アセスメントテスト Ⅰ-1		ラダーレベル中間評価 (実技) 3日(木)~9日(水) フィジカル アセスメント再テスト Ⅰ-1	(研修) 27日(火) 28日(水) 急変時対応 Ⅰ-1、3、4 Ⅲ-1	(研修) 災害訓練に参加 Ⅳ-5		(研修) 26日(火) 27日(水) 患者中心の看護 Ⅰ-2 Ⅱ-1、2	3日(水) 課題レポート提出 ラダーレベル自己・ 他者評価実施	ラダーレベル評価会
レベルⅢ-①	①個別性を重視した看護を 実践する ②看護実践者として、後輩に 支援的役割を果たせる		(研修) 26日(火) 事例研究のすすめ方 Ⅳ-1 「eAPRIN」更新を 行う。				ラダーレベル中間評価	(研修) 院内留学(1日)	(研修) 25日(水) リーダーシップ Ⅳ1~5			(研修) 9日(火) 事例研究発表会 Ⅵ-1 ラダーレベル自己・ 他者評価実施	ラダーレベル評価会
レベルⅢ-②				(研修) 2日(火) 3日(水) QC活動のすすめ方 Ⅲ-1、2 Ⅳ-1~5					(研修) 17日(火) 18日(水) 看護管理 Ⅳ1~4	(研修) 15日(火) 16日(水) QC活動発表会		ラダーレベル自己・ 他者評価実施	ラダーレベル評価会
レベルⅣ	①後輩の学習を支援する ②チームリーダーとしての 役割行動がとれる		(研修) 19日(火) 20日(水) 後輩指導① V-2		(研修) 28日(火) 29日(水) 診療報酬・DPC Ⅳ-		ラダーレベル中間評価	(研修) 9日(金) ワールドカフェ テーマ「病院経営」 Ⅲ-1~3 Ⅳ-1~5				ラダーレベル自己・ 他者評価実施	(研修) 2日(火) 3日(水) 後輩指導② V-2 ラダーレベル評価会
レベルⅤ	専門性の発揮、管理・ 教育的役割モデルとなり、 研究的への取り組みができる	(研修) 21日(火) 「研究の進め方」 Ⅵ-1					ラダーレベル中間評価			(研修) 2日(水) 「研究のまとめ方」 Ⅵ-1		(研修) 3日(水) 「プレゼンテーション のコツと評価の仕方」 Ⅵ-1 (研修) 16日(火) 看護研究発表会 Ⅵ-1 ラダーレベル自己・ 他者評価実施	ラダーレベル評価会
研究													

専門分野研修(時間内) : エントリー制研修 ※各研修には、定員枠があります

専門分野	褥瘡 認知症 災害 救急 がん 緩和 心不全 放射線	12日(火) 皮膚・排泄ケア 「褥瘡を評価する」	9日(火) 皮膚・排泄ケア 「ストーマケアの 基礎」 16日(火) 「化学療法看護」 23日(火) 「心不全看護」	1日(水) 8日(水) 「緩和ケア」 22日(水) 「呼吸」	1日(火) 皮膚・排泄ケア 「ストーマと装具 選択」 16日(水) 平日1日研修 「がん看護」 15日(火) 「循環」	6日(火) 「災害看護」	4日(水) 「中枢神経系」	1日(火) 「化学療法看護」	19日(火) 「認知症の基礎知識 と 看護について」				
自己研鑽	たくみ塾 (レベルⅣ以上)	目的：日頃の看護を振り返り、より患者さんの視点に近づくために、看護についての文献を読み、その気づきをみんなでディスカッションし、学びを深めていく。											